

平成28年観光統計概要（速報値）について

平成28年1月～12月

1 観光客入込数は、6,084万人。平成27年比 18万人増加。震災前の水準まで回復。

- 県内全体の観光客入込数は6,084万人で、前年と比べ、18万人の増加（+0.3%）となりました。
- 東日本大震災前のH22年（6,129万人（過去最高の観光客入込数））と比べると、同水準まで回復しています（H22年比▲35万人、▲0.7%）。
- H27年比では、仙台圏域を除いた圏域で増加しており、仙台圏域では98.5%となりました。
- H27年から観光客入込数が増えた要因として、H27年に再開した観光集客施設の通年営業や海水浴場の再開、各種観光施策による誘客効果などが挙げられます。

【H27年比増】

仙南圏域：おおがわら天然温泉いい湯（大河原町）の通年営業（H27.12～）+14.3万人、大崎圏域：政宗公まつり（大崎市）+6.7万人、栗原圏域：栗駒山・いわかがみ平（栗原市）+4.3万人、登米圏域：ふるさと花火IN長沼（登米市）+2万人、石巻圏域：月浜海水浴場（東松島市）+3.4万人、気仙沼圏域：南三陸町復興市（南三陸町）+3.9万人

【H27年比減】

仙台圏域：みちのくYOSAKOIまつり（仙台市）▲39.6万人・SENDAI光のページェント（仙台市）▲26万人

- H22年対比では、「仙南」、「仙台」、「栗原」の各圏域でH22年の水準を上回っている一方で、特に震災により甚大な被害を受けた「石巻」、「気仙沼」の各圏域については、それぞれ、H22年比で75.7%、59.6%であり、圏域間で回復の状況に差がみられます。
- H22年から観光客入込数が減少している要因として、震災によるイベント・観光施設の規模の縮小、休止している海水浴場などによる減少が挙げられます。

【H22年比増】

仙南圏域：H23年以降に新たなイベントが開催されるようになった船岡城址公園（柴田町）+18万人

仙台圏域：楽天コボスタジアム宮城（仙台市）+45.1万人、

栗原圏域：H20年の岩手・宮城内陸地震からの回復や日本ジオパーク認定（H27.9）等（栗原市）+87.5万人

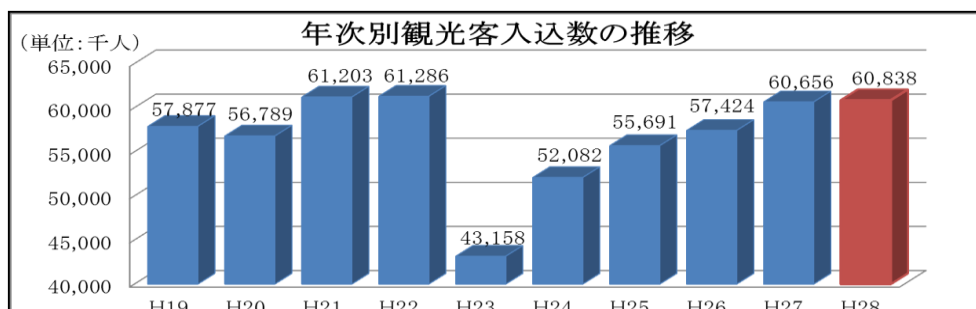
【H22年比減】

大崎圏域：みちのく古川 食の蔵醸室（大崎市）▲22.8万人、登米圏域：みやぎの明治村▲14.2万人、石巻圏域：石巻川開き（石巻市）▲13.3万人・海水浴場未再開▲9.1万人、気仙沼圏域：岩井崎園地（気仙沼市）▲39.6万人・海水浴場未再開▲20.2万人

（単位：千人）

	H22	H27	H28	H22年比	
				H22年比	H27年比
仙南圏域	5,672	6,019	6,091	107.4%	101.2%
仙台圏域	33,680	35,572	35,042	104.0%	98.5%
大崎圏域	9,974	9,132	9,440	94.7%	103.4%
栗原圏域	1,132	1,892	2,007	177.4%	106.1%
登米圏域	2,772	2,710	2,744	99.0%	101.3%
石巻圏域	4,432	3,177	3,355	75.7%	105.6%
気仙沼圏域	3,624	2,154	2,160	59.6%	100.3%
合計	61,286	60,656	60,838	99.3%	100.3%

※四捨五入の関係で一致しない場合があります。



2 宿泊観光客数は、 922 万人。平成 27 年比 7 万人減少。

- 県内全体の宿泊観光客数は 922 万人で、前年と比べ 7 万人減少（▲0.8%）しました。
- 東日本大震災前の H22 年との比較では、117 万人（+14.5%）多くなっています。
- H27 年比の全体の傾向としては、5 月のゴールデンウィーク（H27.5 比▲3.4 万人泊）や 9 月のシルバーウィーク（H27.9 比▲5.2 万人泊）の日並びの悪さ、大型コンサート等（H27 年比入込数▲44.1 万人）や「観光王国みやぎ旅行割引」（▲12.6 万人泊）の反動減など、全体を押し下げる減少要因が多数あったにもかかわらず、宿泊施設の新設・再開や各種観光施策の取組等により H27 年と同水準にとどまりました。
- 圏域別にみた場合、H27 年比では、仙台圏域を除いた全域で増加しており、仙台圏域では 96.9%となっています。
- H22 年比では、大崎圏域及び沿岸部（石巻圏域・気仙沼圏域）が震災前の水準を下回っていますが、気仙沼圏域では 95.2%まで回復しました。

【H27 年比増】

- ・ 仙南圏域：エコーラインの開通が H27 年は 6 月であったが、H28 年は 4 月から開通したこと等による増
- ・ 大崎圏域：大崎市 10 周年記念事業の波及効果や、新規大型ホテルの参入による PR 効果、近年開通した鬼首バイパスの周知徹底が図られたこと等による増
- ・ 栗原圏域：H20 年の岩手・宮城内陸地震からの回復や日本ジオパーク認定（H27.9）等による増
- ・ 登米圏域・石巻圏域・気仙沼圏域：H28 年に宿泊施設が新設されたことや、H27 年に開業・再開した施設が通常営業したこと等による増

【H27 年比減】

- ・ 仙台圏域：大型コンサートや「観光王国みやぎ旅行割引」の反動減等による減

【H22 年比増】

- ・ 仙南・登米圏域：新たに宿泊施設がオープン（仙南：H25、登米：H26）したこと等による増
- ・ 仙台圏域：北海道新幹線の開業（H27.3）、国内線・国際線の新規就航や首都圏等への継続的な観光キャンペーン等による増
- ・ 栗原圏域：H20 年の岩手・宮城内陸地震からの回復や日本ジオパーク認定（H27.9）等による増

【H22 年比減】

- ・ 大崎圏域：湯治客が震災前と比べて減少していることや宿泊施設の減少等による減
- ・ 石巻圏域：宿泊施設数の減少等による減
- ・ 気仙沼圏域：宿泊施設数が減少しているものの、大島架橋及び病院の建設工事に伴う関係者の宿泊客増等により回復傾向

（単位：千人）

	H 2 2	H 2 7	H 2 8	H27 年比	
				H22 年比	H27 年比
仙南圏域	607	630	656	108.1%	104.1%
仙台圏域	5,649	7,048	6,828	120.9%	96.9%
大崎圏域	927	845	856	92.4%	101.4%
栗原圏域	87	111	123	141.8%	111.3%
登米圏域	26	78	89	347.5%	113.6%
石巻圏域	311	220	245	78.6%	111.0%
気仙沼圏域	441	356	420	95.2%	117.9%
合 計	8,047	9,289	9,217	114.5%	99.2%

※四捨五入の関係で一致しない場合があります。

